第30回東京学芸大学教育講演会

被ばくの事実と向き合うための教材とは—提案と検討

2026年 11月 16日(月) 10:20 ~ 12:00

会場 東京学芸大学 w110教室

対象 学生・教職員（対面のみ／先着200名締切）

講師 崎山（さきやま） 比早子（ひさこ）さん

医学博士。マサチューセッツ工科大学研究員、放射線医学総合研究所主任研究官を経る。東京電力福島原子力発電所事故調査委員会（国会事故調）委員。著書『母と子のための被ばく知識』ほか。



被ばくの事実と向き合うのは簡単ではないが、向き合うことで、より人間らしく生きていけるようになります。崎山さんは、子どもが被ばくの事実と向き合えるようになるための教材をつくっています。まず崎山さんの提案が50分。「こんな教材ではどうか。みなさんにアイデアを貸して欲しい」。次に参加者の質問や意見が40分。「その意味は何だろう。こうするともっとわかりやすい」。子どもの未来に関心をお持ちの多くの方のご参加をお願いします。

参加される方はお名前ご所属等を受付担当大森直樹（omori@u-gakugei.ac.jp）までご連絡ください

主催 東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター　184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1　☎042-329-7350